

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第3回弘前市子ども・子育て会議
開 催 年 月 日	令和5年3月15日(水)
開 始 ・ 終 了 時 刻	14時00分 から 15時30分まで
開 催 場 所	弘前市立図書館 2階 視聴覚室
議 長 等 の 氏 名	佐藤 三三
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 三三 会長 ・金子 泰雅 委員 ・相馬 玲子 委員 ・對馬 大輔 委員 ・廣田 恵里 委員 ・井澤 優子 委員 ・古山 剛弘 委員 ・安川 由貴子 委員 ・工藤 淳治 委員
欠 席 者	<ul style="list-style-type: none"> ・三橋 扶弥子 委員 ・三浦 隆史 委員 ・成田 正彦 委員 ・柿崎 良樹 委員 ・笹森 麻野 委員 ・河島 勝行 委員 ・佐藤 亘 委員
事 務 局 職 員 の 名 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭課長 蒔苗 元 ・こども家庭課長補佐 三上 真一 ・こども家庭課長補佐 竹内 孝行 ・健康増進課母子保健係長 土岐 暖子 ・子育て包括支援係長 浅沼 綾香 ・健全育成係長 吉村 友香 ・保 育 係 長 長谷川 竜太 ・子育て相談係長 北畠 龍 ・保 育 係 主 事 鈴木 守
会 議 の 議 題	第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画の変更承認について
会 議 結 果	<p>(1) 第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画中間見直し後の変更案について、事務局より説明した。</p> <p>(2) 変更案について、承認を頂いた。</p> <p>(3) 出席委員から意見を得た。</p>

<p>会議資料の名称</p>	<p>資料1 第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～6年度） 中間年の見直しについて</p> <p>資料2 弘前市子ども・子育て支援事業計画（改訂案）</p> <p>資料3 弘前市子ども・子育て支援事業計画（改定案）【変更箇所抜粋】新旧対照表</p> <p>その他資料 弘前市子ども・子育て支援事業計画における発達障がい等の関わりについて</p>
<p>会議内容</p> <p>（発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等）</p>	<p>○開会</p> <p>【司会】 「令和4年度第3回弘前市子ども・子育て会議」を開会いたします。 初めに、こども家庭課長より挨拶申し上げます。</p> <p>（こども家庭課長より挨拶）</p> <p>【司会】 本日まで出席の委員は9名で、ご欠席は7名となっており、委員の半数以上が出席されておりますので、会議成立とさせていただきます。</p> <p>○案件 第二期弘前市子ども・子育て支援事業計画の変更承認について</p> <p>案件について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【事務局】 （資料1～3に沿って説明）</p> <p>【議長】 ご意見、ご質問、ご感想等ございますか。 （発言なし） ただ今説明を頂いた内容について、会議として変更を承認したいと思います。</p> <p>○その他</p> <p>【議長】 それでは、その他として、事務局より説明をお願いします。</p>

【事務局】

(その他資料に沿って説明)

【議長】

前回のご意見に応える形で資料のご用意をしていただきました。これらを踏まえて、さらにお感じになったことや、そのようなことがあればお聞きしたいが、いかがでしょうか。

【委員】

とても充実した資料を頂き安心した気持ちもありつつ、現状としては、当事者として考えた際、方針は良いのだが、実際に子どもがどのように育っているかと言え、まだまだ生きづらさがあり集団になじめずにいるというのが現状。早期発見で療育を受け、保育園幼稚園や保健師等も協力して頂き、療育の先生の説明もあり、連携はできているが、それを担任の先生が可能かというところが行き届かず、まだまだ理解を得るのが難しいというところがある。

【議長】

もう少し身近なところでのお話として課題があるということですね。

【委員】

インクルーシブ教育について、弘前市は割と早くから推進していて、表面上はインクルーシブである。表面上はインクルーシブにしてくれているが、それが逆に子どもにとって分かりにくいことがあって、支援があれば他の子と同じようにできるというのが本来の姿だが、表面上ゆるやかにみんなと同じことをするような雰囲気、それが子どもにとっては戸惑いが大きいと感じている。

【議長】

その他今の発言に対して何かございますか。

【委員】

言葉だけが障害を抱えている子も普通の子も同じかと言え、決してそうではない。抱えている子は支援があることで初めて同じ土俵に立てるのに、支援が無くて同じというように教育を検討されてもそれだけではよくない。

在宅で今、義務教育ではないが全員が小学校に入る前に保育園や幼稚園に入ることが親の選択で良いということは重々承知しているが、実際問題として、在宅で集団に属さず小学校に入学せざるを得ない子が弘前市では何人くらいいるのか、そういった人たちに誰がどういう風に手を差し伸べて関わっているのか、そういったところも問題を明らかにしていかないと子ども子育て支援は完結しないと考える。

発達障がい児とのかかわりがこういう風に盛り込まれたということは大事な一歩だとは思いますが、それだけではなく、在宅で通わせたくても通わせることができない貧困家庭であるとか、要支援レベルで発達障がいを抱えていて育児プアで育てることができないとか、療育機関と連携することすらできないという子はたくさんいると思われる。そこを弘前市は誰がどのポジションで把握をされていて、そのようなお子さんが何人くらいいるのかということ把握しているのか、というのを聞きたい。それとそういった子も計画に組み込んでもらえればいいかなと考える。

【議長】

そういった子を把握しているかどうかということについて、いかがでしょうか。その他問題も提起されたが、事務局ではいかがでしょうか。

【事務局】

在宅に関しては現在話題にもなっている無園児という括りにもなるのかと考えられるが、現在市としてはそのような数字についてはつかめていない状況である。今お話しされた状況については、保育の場面の関係や子育て支援の関係で、市の方としては2期の計画の中間年の見直しということで、次期計画は令和7年度からということで控えている。その次期計画にむけて令和5年度には今の意見も踏まえながら当市の計画におけるニーズ調査というのを実施する予定である。調査するにあたって現在の意見を踏まえながら調査の項目を整理して当市の現状とも検討しながら次期計画にどのような形で反映できるかということで、参考にさせていただきたい。

【議長】

その他はどうでしょうか。

【委員】

質問だが、その他資料の 66 ページと書かれてある部分の弘前市障がい者計画の表の中で、⑦の障がい児の健全育成事業の、各児童館・児童センター及び放課後健全育成事業における障がい児の受け入れについて、児童館の障がい児の受け入れに関する記載を初めて見た気がするが、その中で児童館実施施設が 14 か所で人数が 80 人というのは、14 か所で 80 人を受け入れる体制が整っているということなのか、それとも現在診断を受けて入っている人が 80 人なのか、というのを伺いたい。

【事務局】

2019 年の数値であり、現在は施設数も人数も増えている。これは実際に申請の時に保護者が自分の子は診断を受けているという子と、診断は疑いということだが特別支援学級に通っているという子、後は疑いで特別支援学級にも入っていないが放課後デイサービスと併用して、児童館児童センターその他放課後健全育成事業を使っているという子を集計したものであり、実際登録している児童数ということで理解してほしい。

【委員】

児童館では、現状は診断を受けている子、診断は受けていないが特別支援学級やサポート学級に通っている子、その他グレーと言われる子、ずっと側転していたりテーブルの上をズックのまま走り回ったり急に背中をたたいたり、そういった子がいっぱいいる中で来年度の新 1 年生も登録し、その中にさらに診断を受けている子がいる。その中で健全育成事業と発達障がい支援的なこと、放課後デイサービス等を一緒にやらなければいけないということ。ただそういった設備もないし職員も少ないということで大変な思いをしている。そういった中で、前回発達障がいについて意見を述べ、今回これだけの資料を用意していただき大変ありがたいと思っている。

そこで 1 つ要望として、先ほど計画に関しては意見が寄せられなかったというお話もあったが、資料 2 の支援事業計画について、市民の方が見たときに 1 番目にかかるところが、弘前市ではこういった形で支援事業をやっているかということである。例えば 15 ページの①～⑬までの事業を見て、こういった事業をやっているのかという、ここが一番関心を持つ

	<p>ところかなと思う。この中に、その他資料の 59 ページと書かれているところの下の方に、弘前市こどもの発達サポート事業というものがあり、障がい福祉課が主管課となっているのだが、次期の計画に障がいに関することを盛り込むということで、入れられる余地があるのであれば、15 ページのこの中にに入れてしまってもいいのではないかと思う。</p> <p>なかなか発達障がいの疑いがある人はどこにも相談に行けず、相談しに行ったとしても、本当は週 6 で通わせたくても、空いているところが無く行かせたくても行かせられないということもよく耳にする。そういう意味でも弘前市でこういう事業をやっていると広く周知させることも子ども子育て支援事業計画というものを作っていくうえで大事だと思う。</p> <p>【議長】</p> <p>貴重なご意見として、ご検討いただきたいと思います。</p> <p>その他、これに関係ないことでも全体的な子育て、障がい児などの問題はもちろん、ご意見やご感想等あればどうぞ。</p> <p>(発言なし)</p> <p>それでは、いろいろご意見等いただき、ありがとうございました。</p> <p>○ 閉会</p> <p>【司会】</p> <p>以上を持ちまして、「令和 4 年度第 3 回弘前市子ども・子育て会議」を閉会いたします。</p>
その他必要事項	会議は公開